

定例記者会見発言録

日 時：令和4年2月24日（木）14時～
場 所：伊達市役所議会棟2階 特別会議室
出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、
産業部長、建設部長、健康福祉部長、市民生活部長、
教育部長、こども部長、健康対策担当参事
報道機関：福島民報社、福島民友新聞社、読売新聞社、朝日新聞社
時事通信社
発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

	2期目就任のあいさつ
資料1	令和4年度当初予算の概要
資料2-1	3月議会提出議案の概要
資料2-2	3月補正予算の概要
資料3	令和4年度伊達市行政組織の改編
資料4	市民の視点に立った行政と地域社会のデジタル変革を推進
資料5	新型コロナウイルス感染症の予防接種 追加接種（3回目接種）事業概要
資料6	税等のスマートフォン収納開始

《質疑応答》-----

令和4年度当初予算関連

■予算額関連

記 者 当初予算について昨年度比の増減を教えてください。またその要因について教えてください。

財務部長 当初予算の昨年度比ですが、5億3,791万1千円の増でございます。1.67%増でございます。主な歳出増の要因ですが、大きな金額増となりましたのは、伊達小学校の改築事業につきまして、校舎の建築工事が始まりますので、前年度比6億5千万円ほど増額となっております。また、保原総合公園の拡張事業でございますが、令和4年度が最終年となっておりますので前年度比で1億2千万円ほど増額となっております。

記 者 大型商業施設誘致のところで2億5千万円を計上していますが、昨年度当初予算で伺ったときに3年間で6億円とお話があったかと思いますが、総額は変わりませんか。

市 長 はい。変わりません。

■市の財政状況関連

記者 当初予算ですが、コロナの影響で税収減などの見通しはあったのでしょうか。

財務部長 税収の見込みですが、令和3年度予算では税収が落ち込むのではないかと見込んでおりましたが、さほど影響がなかったものですから、令和4年度につきましては、影響は少ないと見込んでおります。

記者 市債の残高であるとか、公債費率が10%を超えているとかで、市の財政状況は厳しいのか、厳しくないのかどのような認識ですか。

財務部長 市の財政状況ですが、市債も400億を超えておまして、厳しい状況だと認識しておりますが、それを踏まえまして持続可能な行政経営をできますよう財政シミュレーションをしながら毎年の予算編成について見込みを立てて実施しているところです。

記者 市債残高の令和4年度末の見込みはいくらになりますか

財務部長 令和4年度末見込みですが、431億1,500万円の見込みでございます。

記者 かつていろいろ財政危機などあるかと思いますが、そういうものの現状レベルといえますか、10年前から減っている、増えているなど変化はありますか。

財務部長 財政調整基金などの基金ですが、最大に積んでいた時が140~150億くらい。現在は100億になっているところになっています。

記者 財政が厳しい状況にあるかともいますが、予算編成にあたって苦心したところいいますか、どんなところに重点をおいたなどがありますか。

市長 財政が厳しい状況には変わりがないと思っております。伊達市としましては将来的には若者が定住するまちをしっかりとつくっていかねばならない。安全安心なまちをつくっていかねばならない。そういったところで若者が定住するための働く場の確保、子育て教育の充実、そういったものに対してしっかりと予算を確保してきたと思っております。また、新型コロナのワクチンにつきましてはしっかりと進めなければなりませんので安全安心、防災減災について市民が安心できるまちをしっかりとつくった上で、厳しい財政状況を踏まえて若者定住、子育て教育について予算を集中的にといいますか、そちらにシフトさせたということでございます。

■当初予算に掲載の事業関連

記者 機能別消防団の導入について、当初予算についてありましたが詳しくお聞かせください。

市長 機能別消防団につきましては、なかなか仕事の関係でフルの消防活動ができない場合に、火災の時など緊急的に活動するなど場所やその時の状況によって活動できる方をお願いをするということです。今まで消防活動を実施していた方で引退した後で、フルではなくて限られた場合において実施してもらおう場合など機能別としています。

記者 石田小学校についてですが、現在の児童数と令和4年度の入学者数を教えてください。

教育部長 資料を持ち合わせておりませんでしたので、後でお知らせいたします。

記者 お悔やみコーナーはいつごろ設置する予定ですか。

総務部長 現在、担当で調整しているところですが、令和4年度の早い時期には皆さんにお知らせしてスタートできるように進めています。

3月補正予算関連

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業関連

記者 補正予算について、プレミアム付き商品券はいつ頃に発行しますか。

財政部長 プレミアム商品券ですが、紙のものを7月に発行しまして、デジタル式のものを9月に発行する予定です。

その他

■職員の処分関連

記者 市職員の逮捕を受けて、処分についてはどのようになっていますか。

市長 処分につきましては、本人への聞き取りを実施してきたところでございます。今後、伊達市懲戒等審査委員会にかけまして処分を決定していきたいと考えています。審査委員会はこれからでございますので、審査委員会で決定したのちに処分ということになります。

記者 それは現在も市職員という肩書で在宅になっているということですか。

市長 はい。そうです。

■伊達市新工業団地関連

記者 新工業団地についてお伺いしますが、1回目の予約販売が2月10日で終了したかと思えますけど、現在の状況をお聞かせください。

市長 新工業団地につきましては中小区画6区画の先行販売を実施してきたところでございます。2月10日で第1期目の予約販売を終えたところですのでございます。2月10日で第1期目の予約販売を終えたところですのでございます。2月10日で第1期目の予約販売を終えたところですのでございます。現在3社から申し込みがございます。製造業、倉庫業の3社からの申し込みでございます。譲渡先につきましては今後、審査会を開きまして、3月中には決定していきたいと思っております。そのほかの区画、大区画については新年度になってから、今回の6区画のうちの予約をされたところ以外は新年度になりましたら改めて予約の開始をしていきたいと考えております。現在6区画につきましては他の事業者からも問い合わせがございました。その区画を販売している事実がわかっていない場合があったり、まだ検討中でその事業者としての決定がまだ正式にされていないということもありましたので、新年度になって新たな申し込みをした段階で、その企業から申し込みをされるのではないかと考え

ております。

記 者 現在、3社から手が挙がっていて、これから伊達市として選んでいって、ダメな場合もありますし、今後、決まるということですか。

市 長 はい。そうです。

■保原認定こども園関連

記 者 認定こども園についてお聞きしますが、1月の記者会見で話をしましたが、保原認定こども園について現状ではどのようになっていますか。

市 長 事業者のほうから断念したいと話がありまして、現在、新たに事業をできる事業者について公募を2月16日から開始しているところでございます。今年度中に事業者を決定いたしまして、4月から事業者との協議を進めまして具体的な開園の時期が決定されるのかなと思っております。

■バイオマス発電関連

記 者 バイオマス発電についてお聞きします。市が把握している状況、進捗状況、市と企業の協議など、現状はどのようになっていますか。

市 長 市と企業の協議は特にございません。市は事業者から説明会をしたいという話がきております。これについては、市民団体にも話がいつているところです。市民団体でまだ説明会を受けるというような状況になっていないので、市としては市民団体が説明会を受けるのを待って、市としてもその団体と一緒に事業者からの説明を受けると考えております。

記 者 現段階では、梁川の工業団地の工事はされていないというか、進んでいないという認識ですか。

市 長 事業者側が準備行為等を行っているかは別として、本格的な工事というのは実施をされていないと、私はとらえております。